

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題フェノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験試験番号

3 7 3 9 (017-015)

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年4月採択)の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験(1997年4月提案)」に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： フェノール
- 2) 暴露方法： 半止水式(毎日試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 連 数： 1濃度区につき10連
- 6) 生物数： 10頭/1濃度区(1連につき1頭で1濃度区10頭)
- 7) 試験濃度： 対照区, 0.2 ppm, 0.6 ppm, 2.0 ppm, 6.0 ppm および 18.0 ppm  
(公比約 3.0)
- 8) 試験液量： 1容器につき 80 mL
- 9) 照 明： 16時間明/8時間暗
- 10) 試験水温： 20.1~20.7℃
- 11) 被験物質の分析法： HPLC法

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)  
= 3.19 ppm (95%信頼区間: 1.70~6.91 ppm)
- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度 (EC50)  
= 3.70~12.1 ppm
- 3) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC) = 1.24 ppm
- 4) 21日間の最小作用濃度 (LOEC) = 3.70 ppm  
(上記濃度は、全て測定値に基づく値)